

■ 概要

アップグレードライセンスは、PRM ソフトウェアのレビジョンアップまたはパッチの適用を行う際に必要となるライセンスです。

■ 仕様

● アップグレードライセンス (PM2CREUP：レビジョンアップ用)

同一バージョン番号の範囲で、本ライセンス有効期限までにリリースされた各レビジョンのソフトウェアをインストールできます。また、本ライセンス有効期限までにリリースされたソフトウェア修正版 (パッチ) もインストールできます。

● アップグレードライセンス (PM2CPACH：パッチ用)

同一レビジョン番号の範囲で、本ライセンス有効期限までにリリースされたソフトウェア修正版 (パッチ) をインストールできます。

● アップグレードライセンスの有効期限について

ライセンスの有効期限は、ライセンス媒体 (CD-R) 上の「Expired Date」欄に記載されます。有効期限以降も、有効期限 (Expired Date) 以前にリリースされたレビジョン/ソフトウェア修正版 (パッチ) をインストールできます。したがって、標準ソフトウェアの再インストールの際には、有効期限までのレビジョン/ソフトウェア修正 (パッチ) まで回復できます。

● レビジョンアップにおけるプロダクトメンテナンスポイントについて

レビジョンアップ用の場合、適用規模はプロダクトメンテナンスポイント (PM ポイント) によって決まります。パッケージポイントが標準ソフトウェアの形名ごとに決められており、対象システムの標準ソフトウェアのパッケージ数とパッケージポイントによって、必要な PM ポイントを算出します。

$$\text{PM ポイント} = \sum (\text{パッケージポイント} \times \text{パッケージ数量})$$

コンポーネント	ソフトウェアパッケージ	パッケージポイント
PRM サーバ	PM4S7700	2
PRM クライアント	PM4S7710	0.5
フィールド通信サーバ	PM4S7720	0.5
PRM アドバンスド診断サーバ	PM4S7740	3

注：PRM R4 セット (PM4SSET) は、PRM サーバ機能 (PM4S7700)、PRM クライアント (PM4S7710)、およびフィールド通信サーバ (PM4S7720) を含むため、パッケージポイントは 3 です。

注：本書において、「ソフトウェアパッケージ」という言葉は、ソフトウェアライセンスによって有効となるソフトウェアの機能単位を意味します。

■ 形名・仕様コード

PRM レビジョンアップ用アップグレードライセンス

		記事
形名	PM2CREUP	PRM レビジョンアップ用アップグレードライセンス (*1)
基本仕様 コード	-V	ソフトウェア使用权
	1	常に1
	0	和文
	1	英文
	S10	PM ポイント 10 まで
	S11	PM ポイント 11 ~ 20
	S12	PM ポイント 21 ~ 40
	S13	PM ポイント 41 ~ 80
	S14	PM ポイント 81 ~ 120
S15	PM ポイント 121 以上	

*1： PRM R4 ソフトウェアメディア（PM4CKM）は別途手配が必要です。

PRM パッチ用アップグレードライセンス

		記事
形名	PM2CPACH	PRM パッチ用アップグレードライセンス
基本仕様 コード	-V	ソフトウェア使用权
	1	常に1
	0	和文
	1	英文

■ ご注文時指定事項

ご注文の際は、形名と基本仕様コードを指定してください。
対象システムのプロジェクト ID を指定してください。

■ 商標

- ・PRM は、横河電機株式会社の登録商標または商標です。
- ・その他、本文中に使われている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。